

令和4年度

今年のむらづくり
～当初予算の概要～



愛知県海部郡飛島村

目次

1	予算編成のポイント	P. 2
2	会計別予算規模	P. 2
3	一般会計予算の概要	P. 3
	(1) 歳入内訳	P. 3
	(2) 歳出内訳 [目的別]	P. 5
	(3) 歳出内訳 [性質別]	P. 7
4	令和4年度における主要事業	P. 9
5	一般会計の財政数値の推移	P. 28
6	用語説明	P. 29

1 予算編成のポイント

- 「活気・魅力・人づくりの村」をテーマとし、社会情勢の変化や住民の多様なニーズに対応するため、新たな政策判断として、新規事業への着手・既存事業の拡充を予算に盛り込みました。
- 「第4次総合計画」・「地方版総合戦略」と整合性を図るとともに、令和2年度に改訂した総合計画の重点施策に配慮した予算配分としました。
- 「公共施設等総合管理計画」・「公共施設個別施設計画」に基づき、中央公民館及びホールの長寿命化を図るため、大規模改修工事を実施します。
- 前年度に引き続き、ウィズ・ポストコロナを踏まえた住民サービスの向上・感染症対応事業を実施します。

2 会計別予算規模

(単位：千円、%)

《予算規模》

会計名	令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
一般会計	6,390,000	6,340,000	50,000	0.8
特別会計	1,277,370	1,288,160	△ 10,790	△ 0.8
国民健康保険	502,000	506,000	△ 4,000	△ 0.8
農業集落排水処理事業	191,000	183,000	8,000	4.4
土地取得	10,530	10,720	△ 190	△ 1.8
介護保険	487,840	507,540	△ 19,700	△ 3.9
保険事業勘定	487,180	507,060	△ 19,880	△ 3.9
サービス事業勘定	660	480	180	37.5
後期高齢者医療	86,000	80,900	5,100	6.3
合計	7,667,370	7,628,160	39,210	0.5

一般会計は63億9,000万円で、前年度に比べ5,000万円(+0.8%)増加しました。これは、飛鳥学園を建設した平成21年度、すこやかセンター大規模改修工事と服岡一時避難所を建設した平成29年度に次ぐ、過去3番目の予算規模です。

特別会計を含めた当初予算の総額は、76億6,737万円で、前年度に比べ3,921万円(+0.5%)増加しました。

※原則、1万円未満は、切り捨てて表記しています。

3 一般会計予算の概要

(1) 歳入

〈内訳〉

《特徴》

- 自主財源の増
 - ・村税の増額
- 依存財源の減
 - ・国庫支出金（主に梅之郷地区の津波一時避難所建設費の財源）の減額

〈村税内訳〉

(単位：千円、%)

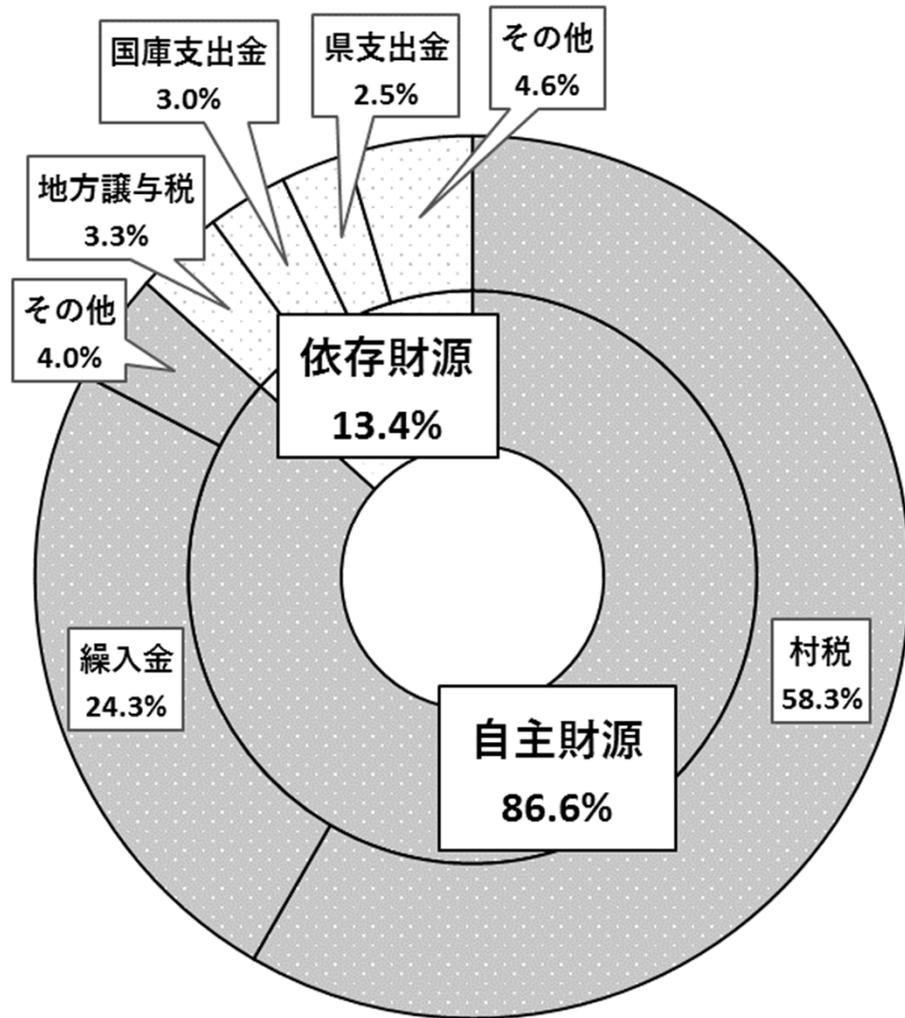
区分	令和4年度		令和3年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
村民税	581,865	15.6	457,174	13.7	124,691	27.3
個人	281,864	7.6	254,173	7.6	27,691	10.9
法人	300,001	8.0	203,001	6.1	97,000	47.8
固定資産税	3,049,064	81.8	2,791,264	83.9	257,800	9.2
軽自動車税	15,402	0.4	14,382	0.4	1,020	7.1
村たばこ税	74,800	2.0	59,607	1.8	15,193	25.5
特別土地保有税	1	0.0	1	0.0	0	0.0
入湯税	6,800	0.2	6,090	0.2	710	11.7
計	3,727,932	100.0	3,328,518	100.0	399,414	12.0

(単位：千円、%)

区分	令和4年度		令和3年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
自主財源	5,534,939	86.6	5,321,990	83.9	212,949	4.0
村税	3,727,932	58.3	3,328,518	52.5	399,414	12.0
分担金及び負担金	34,359	0.5	3,153	0.0	31,206	989.7
使用料及び手数料	60,634	0.9	62,192	1.0	△ 1,558	△ 2.5
財産収入	39,012	0.6	37,988	0.6	1,024	2.7
寄附金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
繰入金	1,549,912	24.3	1,763,753	27.8	△ 213,841	△ 12.1
繰越金	80,000	1.3	80,000	1.3	0	0.0
諸収入	43,089	0.7	46,385	0.7	△ 3,296	△ 7.1
依存財源	855,061	13.4	1,018,010	16.1	△ 162,949	△ 16.0
地方譲与税	209,583	3.3	194,203	3.1	15,380	7.9
利子割交付金	310	0.0	460	0.0	△ 150	△ 32.6
配当割交付金	3,500	0.1	3,400	0.1	100	2.9
株式等譲渡所得割交付金	2,800	0.0	2,500	0.0	300	12.0
法人事業税交付金	81,000	1.3	54,000	0.9	27,000	50.0
地方消費税交付金	188,000	2.9	174,000	2.7	14,000	8.0
自動車取得税交付金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
環境性能割交付金	13,800	0.2	7,800	0.1	6,000	76.9
地方特例交付金	4,001	0.1	11,001	0.2	△ 7,000	△ 63.6
地方交付税	1	0.0	1	0.0	0	0.0
交通安全対策特別交付金	2,500	0.0	2,500	0.0	0	0.0
国庫支出金	190,161	3.0	421,958	6.7	△ 231,797	△ 54.9
県支出金	159,404	2.5	146,186	2.3	13,218	9.0
合計	6,390,000	100.0	6,340,000	100.0	50,000	0.8

※ 構成比は、小数点第二位を四捨五入しているため、各欄で整合が取れない場合がある。

〈構成比〉



※端数処理により、内訳と合計が一致しない場合がある。

〈主な財源・増減要因〉

○自主財源：55億3,494万円（増減率：+4.0%）

村税は、固定資産税における新型コロナウイルス感染症に係る軽減特例の終了などにより、37億2,793万円（+12.0%）となりました。そのうち、個人村民税は2億8,186万円（+10.9%）、法人村民税は3億円（+47.8%）、固定資産税は30億4,906万円（+9.2%）、軽自動車税は1,540万円（+7.1%）となりました。

繰入金は、15億4,991万円（△12.1%）となりました。主に財源不足等に対応するための財政調整基金から1億9,897万円、公共施設等の整備のための地域整備基金から13億5,003万円を取り崩します。

○依存財源：8億5,506万円（増減率：△16.0%）

地方譲与税は、特別とん譲与税における入港回数の増など見込み、2億958万円（+7.9%）となりました。

国庫支出金は、1億9,016万円（△54.9%）となりました。これは、前年度に梅之郷地区の津波一時避難所建設等の財源である社会資本整備総合交付金2億1,634万円などを計上していたことによるものです。

県支出金は、1億5,940万円（+9.0%）となりました。これは、参議院議員・県知事・県議会議員選挙が予定されているため、選挙費委託金を計1,150万円計上したことによるものです。

※原則、1万円未満は、切り捨てて表記しています。

(3) 歳出 [目的別]

《特徴》

「活気・魅力・人づくりの村」を創造するため、各費目へ予算配分

○教育費【構成比：30.6%】

中央公民館管理事務事業 約12.8億円
 教育振興事業 約1.1億円
 温水プール維持管理事業 約0.7億円

○民生費【構成比：18.2%】

障害者援護事業 約1.4億円
 子ども・子育て支援給付事業 約1.2億円
 児童手当支給事業 約0.9億円

○総務費【構成比：16.6%】

公共交通バス利用促進事業 約1.6億円
 情報システム機器管理事業 約1.0億円
 賦課徴収事務事業 約0.9億円

○衛生費【構成比：10.3%】

すこやかセンター管理事業 約1.0億円
 一般塵芥処理事務事業 約0.6億円
 聖苑施設管理事業 約0.6億円

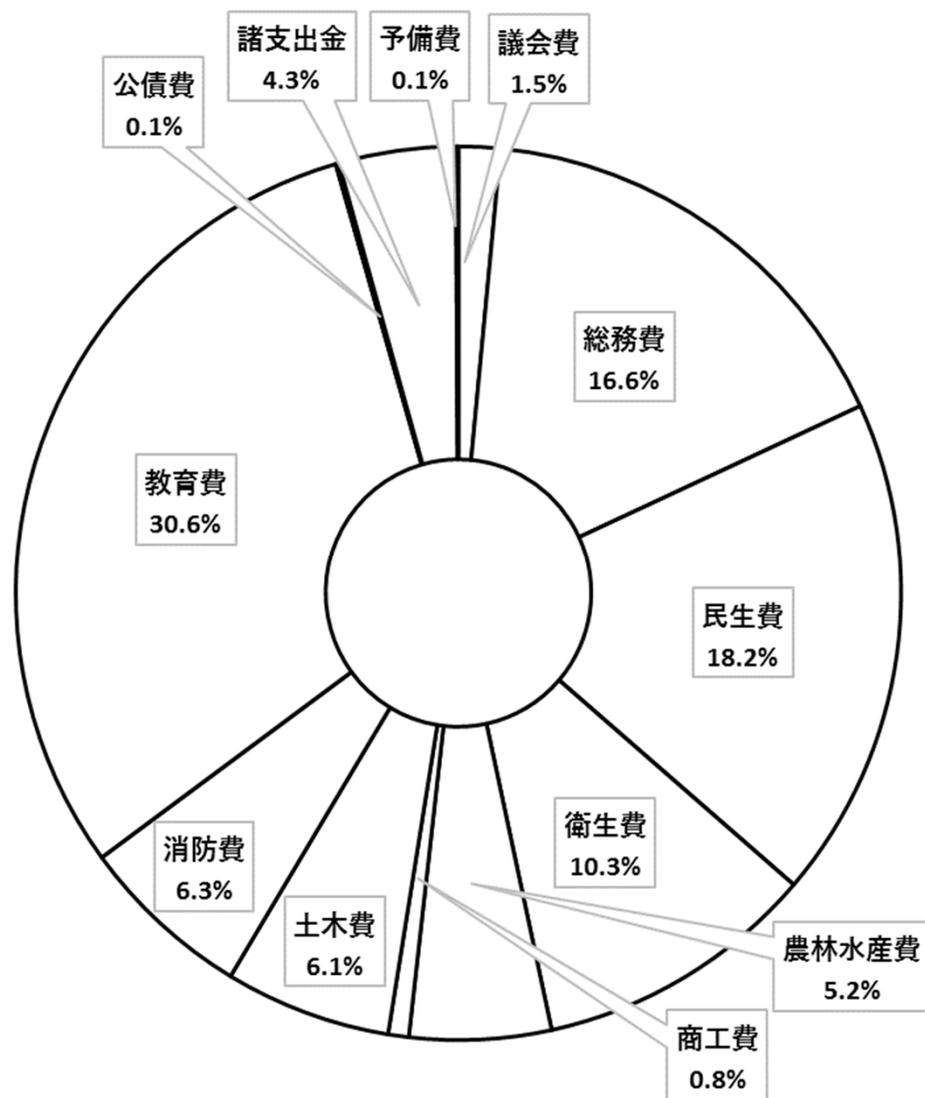
〈内訳〉

(単位：千円、%)

区分	令和4年度		令和3年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
議会費	97,144	1.5	94,675	1.5	2,469	2.6
総務費	1,060,283	16.6	1,043,048	16.5	17,235	1.7
民生費	1,163,768	18.2	1,591,984	25.1	△ 428,216	△ 26.9
衛生費	657,902	10.3	604,766	9.5	53,136	8.8
農林水産費	330,554	5.2	352,113	5.6	△ 21,559	△ 6.1
商工費	48,015	0.8	48,083	0.8	△ 68	△ 0.1
土木費	387,407	6.1	1,086,390	17.1	△ 698,983	△ 64.3
消防費	403,161	6.3	416,619	6.6	△ 13,458	△ 3.2
教育費	1,955,980	30.6	788,947	12.4	1,167,033	147.9
公債費	7,468	0.1	20,199	0.3	△ 12,731	△ 63.0
諸支出金	272,318	4.3	287,176	4.5	△ 14,858	△ 5.2
予備費	6,000	0.1	6,000	0.1	0	0.0
合計	6,390,000	100.0	6,340,000	100.0	50,000	0.8

※構成比は、小数点第二位を四捨五入しているため、各欄で整合が取れない場合がある。

〈構成比〉



〈主な事業・増減要因〉

○民生費：11億6,376万円（増減率：△26.9%）

今年度は、高齢者等福祉タクシーの対象者拡大を実施しますが、前年度に保育所大規模改修工事費3億9,325万円を計上していたため、大きく減額（△4億2,821万円）となりました。

○衛生費：6億5,790万円（増減率：+8.8%）

聖苑火葬炉改修工事費及び遺体冷蔵庫等購入費計5,280万円、新型コロナウイルスワクチン接種事業費1,015万円の継続実施、雨水貯留タンク設置費補助金70万円、带状疱疹・肺炎球菌の予防接種費用助成制度55万円の 신설などにより増額（+5,313万円）となりました。

○土木費：3億8,740万円（増減率：△64.3%）

前年度に梅之郷地区の津波一時避難所建設工事費及び監理委託費計5億6,996万円を計上していたため、大きく減額（△6億9,898万円）となりました。

○教育費：19億5,598万円（増減率：+147.9%）

中央公民館大規模改修工事費及び監理委託費計12億5,942万円、大学生奨学金の支給要件の緩和900万円、大学新1年生等へのパソコン・周辺機器等の購入費用の一部支給200万円などにより、大きく増額（+11億6,703万円）となりました。

○公債費：746万円（増減率：△63.0%）

平成8年度に借り入れた地方債（旧中学校野球場用地の取得）の償還終了により、減額（△1,273万円）となりました。

※原則、1万円未満は、切り捨てて表記しています。

(3) 歳出 [性質別]

《特徴》

○義務的経費の増

・人件費の増額

①世代構成平準化

②専門職の強化

(保健師、保育士、土木職)

○投資的経費の増

・中央公民館大規模改修工事
関連経費 12.6億円

〈内訳〉

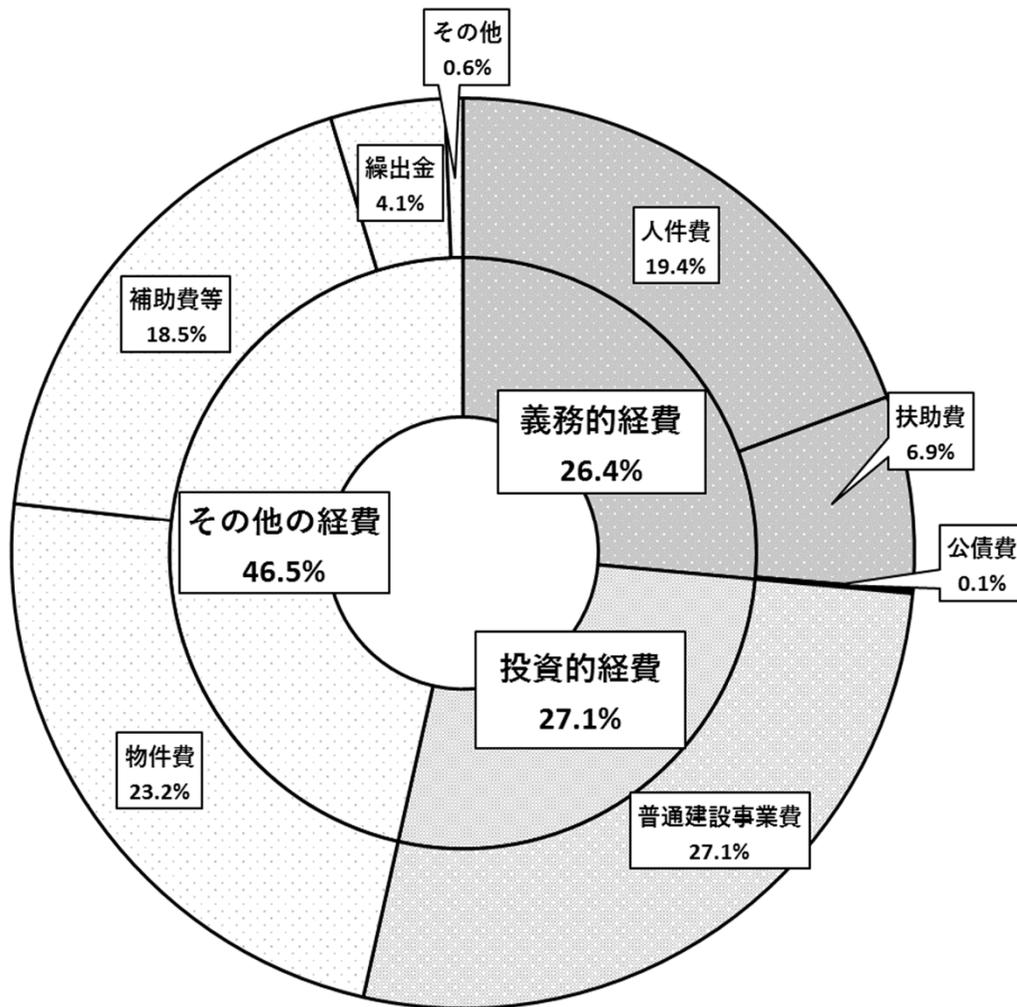
(単位：千円、%)

区分	令和4年度		令和3年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	1,689,426	26.4	1,623,008	25.6	66,418	4.1
人件費	1,240,977	19.4	1,163,661	18.4	77,316	6.6
扶助費	440,981	6.9	439,148	6.9	1,833	0.4
公債費	7,468	0.1	20,199	0.3	△ 12,731	△ 63.0
投資的経費	1,732,400	27.1	1,694,932	26.7	37,468	2.2
普通建設事業費	1,732,400	27.1	1,694,932	26.7	37,468	2.2
補助事業費	8,734	0.1	578,694	9.1	△ 569,960	△ 98.5
単独事業費	1,620,148	25.4	1,001,538	15.8	618,610	61.8
県営事業負担金	103,518	1.6	114,700	1.8	△ 11,182	△ 9.7
その他の経費	2,968,174	46.5	3,022,060	47.7	△ 53,886	△ 1.8
物件費	1,482,124	23.2	1,480,208	23.3	1,916	0.1
補助費等	1,183,632	18.5	1,225,576	19.3	△ 41,944	△ 3.4
繰出金	261,105	4.1	270,177	4.3	△ 9,072	△ 3.4
その他	41,313	0.6	46,099	0.7	△ 4,786	△ 10.4
合計	6,390,000	100.0	6,340,000	100.0	50,000	0.8

※ 構成比は、小数点第二位を四捨五入しているため、各欄で整合が取れない場合がある。

※ その他の経費のその他とは、維持補修費、積立金、貸付金及び予備費をいう。

〈構成比〉



※端数処理により、内訳と合計が一致しない場合がある。

〈主な事業・増減要因〉

○義務的経費：16億8,943万円（増減率：+4.1%）

人件費は12億4,097万円（+6.6%）、扶助費は4億4,098万円（+0.4%）、公債費は746万円（△63.0%）となりました。

○投資的経費：17億3,240万円（増減率：+2.2%）

主な事業として、単独事業費では、中央公民館大規模改修工事費及び監理委託費計12億5,942万円、道路維持工事費1億6,940万円、聖苑火葬炉改修工事費4,950万円、交通安全対策施設工事費計3,502万円などを計上しています。投資的経費のうち、補助事業費が大きく減少したのは、前年度に梅之郷地区の津波一時避難所建設工事費及び監理委託費5億6,996万円を計上していたためです。

○その他の経費：29億6,817万円（増減率：△1.8%）

物件費は、14億8,212万円（+0.1%）となりました。新規事業としては、防災アプリケーション設定委託費及び使用料計638万円、村税をQRコードで納付できるようにするための整備費用計633万円などを計上しました。

補助費等は、11億8,363万円（△3.4%）となりました。新規事業として、空き家除却費500万円、大学新1年生等リモート通信授業支援給付金200万円を計上しましたが、海部南部消防組合への負担金3億882万円（△1,641万円）、公共交通バス（飛島バスなど）事業に対する補助金1億5,939万円（△2,232万円）の減少などにより、全体では減少しました。

※原則、1万円未満は、切り捨てて表記しています。

3 令和4年度における主要事業

○災害に強い村づくり

- | | |
|-----------------------------|------|
| ①スマートフォンから防災情報を確認できるようになります | P.11 |
| ②防災用ヘルメット・救命胴衣購入費用の補助をします | P.12 |
| ③空き家の除却費の補助をします | P.13 |
| ④中央公民館の大規模改修工事を行います | P.14 |

○活気と魅力のある村づくり

- | | |
|-----------------------------|------|
| ①議場にディスプレイを設置します | P.15 |
| ②産地・農業者施設等の整備を支援します | P.15 |
| ③観光交流協会により賑わいのある村づくりを行います | P.16 |
| ④村税をQRコードで納付できるように整備します | P.17 |
| ⑤高齢者等福祉タクシーの対象者を拡大します | P.18 |
| ⑥雨水貯留タンクの設置費用の補助をします | P.19 |
| ⑦带状疱疹・肺炎球菌の予防接種費用の一部を助成をします | P.20 |
| ⑧飛島聖苑の火葬炉等を改修します | P.21 |

○人づくりによる村づくり

- | | |
|---------------------------------|------|
| ①大学生奨学金の支給要件を緩和します | P.22 |
| ②減農薬野菜や無添加食材を積極的に使用した学校給食を提供します | P.23 |
| ③中学2・3年生を対象とした海外派遣事業を実施します | P.24 |
| ④小学生・中学生を対象とした英語教室を実施します | P.25 |

○新型コロナウイルス感染症対応事業

- | | |
|-----------------------------------|------|
| ①プレミアム付き商品券発行事業を支援します | P.26 |
| ②大学新1年生等にパソコン・周辺機器等の購入費用の一部を支給します | P.27 |

～災害に強い村づくり①～

《新規》スマートフォンから防災情報を確認できるようになります【総務課】

- 事業名・予算 防災対策事業 防災アプリケーション設定委託 4,950千円
防災アプリケーション使用料 1,430千円

- 概要 スマートフォン等を活用した「防災アプリケーション」を導入することで、防災情報の伝達手段を増やし、音声だけでなく、文字や地図を使った詳細な情報の提供が可能となります。

- 内容
- ・ 同報無線の内容をアプリで再生
 - ・ プッシュ型の通知
 - ・ 防災マップなどの表示
 - ・ 通信遮断時にもハザードマップ表示が可能
 - ・ 関連リンク集の掲載



(防災アプリケーションイメージ図)

～災害に強い村づくり②～

《新規》防災用ヘルメット・救命胴衣購入費用の補助をします【総務課】

○事業名・予算 防災対策事業 防災用ヘルメット及び救命胴衣購入費 200千円

○概要 巨大地震や激甚化する気象災害の発生から自らの身を守るため、**防災用**ヘルメットと救命胴衣の購入に要する費用の補助を行います。
(1人1回まで)

○補助額 防災用ヘルメット、救命胴衣それぞれの購入金額の2分の1 (100円未満の端数は切り捨て)
※上限：2,000円

○期間 令和4年度から令和6年度までの3年間とします。



(防災用ヘルメット)



(救命胴衣)

～災害に強い村づくり③～

《新規》空き家の除却費の補助をします【建設課】

○事業名・予算 民間住宅助成事業 空き家除却費 5,000千円

○概要 倒壊の恐れや、屋根・外壁等、建物の一部が破損、脱落など周辺の生活環境に悪影響を与える恐れがあると村が判断した危険な空き家に対し、適正な除却を目的とした補助制度です。

○補助額 補助対象空き家を除却する工事費用の3分の1
※上限：100万円

○要件

- ・対象となる空き家は、**10年以上住居として使用されていないこと**
- ・除却後5年間は、当該敷地に主たる建築物として住居用途以外の建築物を建築してはならないこと

※上記の他にも諸条件があります。



(不良住宅イメージ図)

～災害に強い村づくり④～

《新規》中央公民館の大規模改修工事を行います【生涯教育課】

○事業名・予算	中央公民館管理事務事業	中央公民館等大規模改修工事	1,238,600千円
		中央公民館等大規模改修工事監理委託	20,828千円

- 概要 中央公民館及びホール（1982年3月建築）の**長寿命化を図る改修**のために、令和3年度に工事設計委託を実施しました。令和4年度においては、その改修工事を実施します。
- 中央公民館は、主に外壁や建具改修等の建築工事、照明や動力設備等の電気設備工事、空調や給排水設備等の機械設備改修を予定しています。
- ホールは、主に吊り天井の耐震補強改修を予定しています。



（中央公民館）

～**活気と魅力のある村づくり①**～

《新規》議場にディスプレイを設置します【議会事務局】

○事業名・予算 議会管理事務事業 機器備品購入費 676千円

○概要 開かれた議会推進の一環として、議場に2台のディスプレイを設置します。会議の内容をわかりやすくするため、議員から提出された資料などをディスプレイに映し出します。
また、議会中継と同じ映像が流れることにより、発言する議員や村長などの様子が傍聴席からはっきりご覧いただけるようになります。



(議場)

～**活気と魅力のある村づくり②**～

《新規》産地・農業者施設等の整備を支援します【経済課】

○事業名・予算 農業振興管理事業 あいち型産地パワーアップ事業補助金 8,098千円

○概要 栽培施設の整備・農業機械の導入等に対して補助を行い、**農業者の生産性向上を支援します。**
当該事業は、県費補助金である農業振興対策事業補助金を主な財源としています。

※この事業は、事業採択された場合に限り実施します。



(ドローンによる農薬散布の様子)

～**活気と魅力のある村づくり**③～

《継続》 観光交流協会により賑わいのある村づくりを行います 【企画課】

○事業名・予算 企画管理事務事業 飛島村観光交流協会補助金 18,691千円

○概要 飛島村観光交流協会へ補助金を交付し、賑わいのある村づくりをします。

予定している主な事業

- ① 協会公式ホームページ運営
- ② 各種イベント出展
国内宣伝事業としてイベント等に出展し、協会の活動や飛島村の魅力を情報発信します。
- ③ 飛島村の魅力づくり事業
 - ・イルミネーション「Tobishima Lights」
地域経済の活性化を主たる目的としつつ、村民と村内に立地されている企業の従事者の「希望の光」として実施します。
 - ・ナイトクルーズ実施
飛島村の臨海工業地帯の魅力をPRするため、ナイトクルーズを行います。
- ④ 飛島村の魅力発信事業
 - ・とびしマルシェ等誘客イベントの開催
飛島村の魅力を村内外にPRし、地域経済の活性化を図ります。
 - ・るるぶ改訂業務
令和元年に制作した「るるぶ特別編集 飛島村」を改訂します。



(R3 イルミネーションTobishima Lights)



(村役場 de テイクアウト)

～**活気と魅力のある村づくり**④～

《新規》村税をQRコードで納付できるように整備します

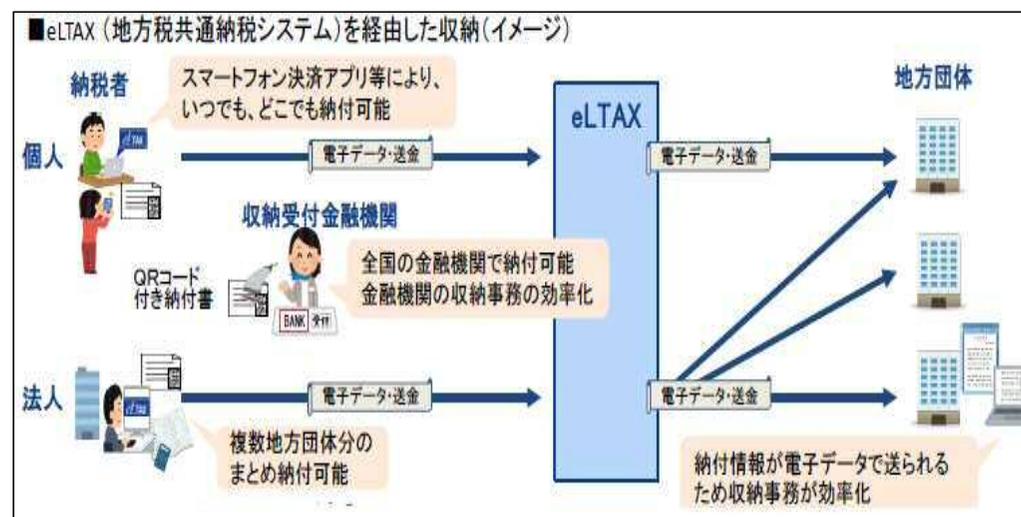
【税務課・住民課】

- 事業名・予算 賦課徴収事務事業 電子計算事務委託 12,102千円のうち5,742千円【税務課】
賦課徴収事務事業 システム改修委託 2,739千円のうち594千円【住民課】

- 概要 令和5年4月から村税の納付について、eLTAX（地方税共通納税システム）を利用し、納付書に全国統一QRコードを印刷することで、**スマートフォン決済アプリ等から納付**できるようになります。
また、金融機関窓口での現金納付は、指定した金融機関だけではなく、**全国のどこの金融機関でも納付可能**となります。

- 対象税目 住民税（普通徴収）
法人住民税
固定資産税
軽自動車税種別割
国民健康保険税

※QRコードは（株）デンソーウェーブの商標です。



（総務省 地方税統一QRコードの活用に係る検討会資料より） 17

～活気と魅力のある村づくり⑤～

《拡充》 高齢者等福祉タクシーの対象者を拡大します【福祉課】

○事業名・予算 福祉タクシー助成事業 福祉タクシー料金助成 4,407千円（拡充額：1,102千円）
印刷製本費 100千円（拡充額： 69千円）

○概要 要介護認定を受けた方やひとり暮らし高齢者等に対して、タクシー料金を一部助成しています。
対象者を75歳以上のすべての方に拡大し、高齢者の外出支援を更に充実させます。

○助成額 54,000円（1,500円×36枚綴り）

○対象者

- ・ 要介護認定又は要支援認定を受けた方
- ・ ひとり暮らしの65歳以上の方
- ・ 65歳以上の者のみで構成される世帯の方
- ・ 施設に通所している65歳以上の方
- ・ **75歳以上の方【拡大】**



～**活気と魅力のある村づくり⑥**～

《新規》雨水貯留タンクの設置費用の補助をします【保健環境課】

○事業名・予算 一般環境衛生事業 雨水貯留タンク設置費 700千円

○概要 住民自らが雨水貯留タンクを設置することにより、水資源を再利用する環境に配慮した村づくりを推進するため、設置費用の一部を補助します。

○対象 ① 雨水貯留タンク

雨どい（たてどい）からの雨水を一時的に貯留するもので、地上据置型の貯留容量が100ℓ以上のもので市販の未使用のもの

② 材料費

雨水貯留タンクの設置に不可欠なバルブ等の材料費

③ 工事費

設置費等の工事費



（雨水貯留タンク）

○補助額 上記①～③を合算した額の2分の1（1,000円未満の端数は切り捨て）
※上限：2万円

～活気と魅力のある村づくり⑦～

《拡充》 带状疱疹・肺炎球菌の予防接種費用の一部を助成をします

【保健環境課】

○事業名・予算 予防接種事業 予防接種助成金 3,087千円のうち555千円

○概要

①带状疱疹

加齢とともに発症しやすい带状疱疹を予防するため、ワクチン接種の一部を助成します。

対象者：50歳以上の方

- ・ 带状疱疹ワクチン（シングリックス）
1回：11,000円（上限） 2回まで
- ・ 水痘ワクチン（ビケン）
1回：3,500円（上限） 1回まで

②肺炎球菌

高齢者肺炎球菌ワクチンの定期予防接種を終了し、5年を経過した方へ任意予防接種の費用の一部を助成します。

- 対象者：当該年度に70・75・80・85・90・95・100歳になる方
- ・ 1回あたり：6,000円（上限）



～**活気と魅力のある村づくり**⑧～

《継続》 飛島聖苑の火葬炉等を改修します【保健環境課】

- 事業名・予算 聖苑施設管理事業 火葬炉改修工事 49,500千円
遺体冷蔵庫等購入 3,300千円

- 概要 飛島聖苑（1995年3月建築）の火葬炉の老朽化に伴い、火葬炉を大型炉に改修します。
令和3年度に2基ある炉のうち1基を改修しました。
令和4年度は、残りの1基について改修します。
併せて、遺体冷蔵庫等についても老朽化に伴い改修します。

- 主な工事内容 火葬炉設備…火葬炉本体（大型炉）、
炉内台車、炉内台車移送設備
燃焼設備…主燃焼用・再燃焼用バーナー、
バーナー燃焼用空気送風機など
排ガス処理設備…排ガス冷却設備・煙道、
誘因排風機など
電気・計装設備…動力制御盤、炉操作盤など
付帯工事…配管工事、保温工事、塗装工事、
搬入・据付工事、解体工事など



（飛島聖苑）

～人づくりによる村づくり①～

《拡充》大学生奨学金の支給要件を緩和します【教育課】

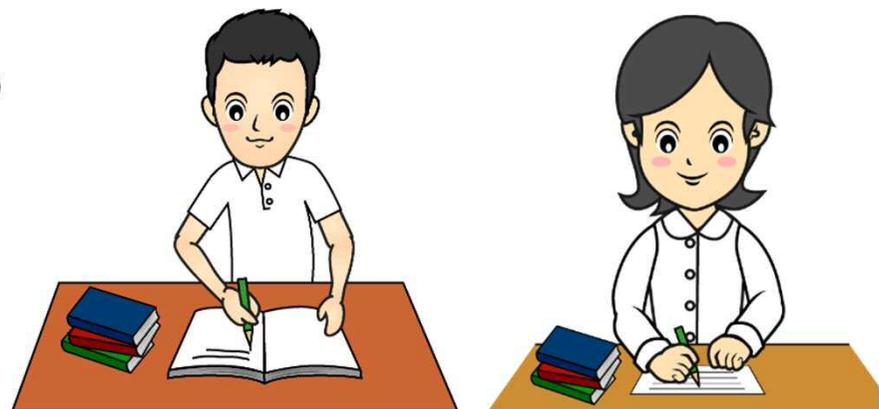
○事業名・予算 教育支援事業 大学生奨学金 9,000千円（拡充額：3,000千円）

○概要 教育の機会均等を図り、有用な人材の育成に寄与することを目的に、経済的な理由により修学困難である学生に対して、その学業に必要な資金を奨学金として給付しています。令和3年度の実績を考慮し、より幅広い方に支援が行き届くよう資格基準の見直しを行います。

【見直しの内容】

申請者及び保護者の市町村民税所得割（税額控除後）を合算した額を**5万円未満から10万円未満に緩和**します。

給付額：年間30万円
(25,000円×12か月=300,000円)



～人づくりによる村づくり②～

《拡充》減農薬野菜や無添加食材を積極的に使用した
学校給食を提供します【教育課】

○事業名・予算 給食事業 賄材料費 626千円のうち150千円（拡充額：100千円）

※減農薬野菜・無添加食材を調達するための予算です

○概要 子どもたちの健やかな心身の育成を図るため、
飛島学園において減農薬野菜や無添加食材を
積極的に使用した給食を提供します。

○提供回数 年5～6回程度を予定しています。
(前年度：3回)



(飛島村の名産ほうれん草)

～人づくりによる村づくり③～

《継続》 中学2・3年生を対象とした海外派遣事業を実施します

【生涯教育課】

○事業名・予算 海外派遣事業（中学生） 海外派遣委託 69,770千円

○概要 海外派遣事業は、村の将来を担う「人づくり」のため、国際的な視野を持ち、人材育成の一環として、これからの生き方に役立てていただくことを目的として、平成3年から村内在住の中学2年生を対象に実施しています。

【令和4年3月時点】

《令和4年度 海外派遣事業の中止について》

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和4年度も中止が決定しました。

特例措置として、中学3年生を対象に長崎ハウステンボスで2泊3日の英語研修を実施します。また、中学2年生に対しては、1年間延期をして令和5年度に海外派遣事業を実施します。

※今後についても、感染状況により変更となる場合があります。



(令和元年度の様子
姉妹都市であるリオビスタ市の市役所前にて)

～人づくりによる村づくり④～

《継続》小学生・中学生を対象とした英語教室を実施します【生涯教育課】

○事業名・予算 生涯学習推進事業 英語教室委託 6,050千円

○概要 国際化に対応できる人材を育てるため、村内在住の小中学生を対象に、英語力やコミュニケーション能力の向上を図り、質の高い英語学習の機会を提供します。

- ・中学生（1クラス20名程度）
 - ①中学1・2年生合同クラス 週1回
 - ※参加費は、前期、後期それぞれ
 - 週1回の全15回（計22.5時間）で10,000円
- ・小学生（計3クラスで各クラス20名程度）
 - ①小学1～2年生クラス
 - ②小学3～4年生クラス
 - ③小学5～6年生クラス
 - ※参加費は、前期、後期それぞれ
 - 3週間に1回の全4回（計4時間）で2,000円



（令和3年度 英語教室（小学生）の様子）

～新型コロナウイルス感染症対応事業①～

《継続》プレミアム付き商品券発行事業を支援します【経済課】

○事業名・予算 商工団体活動助成事業 商品券発行等対策費 4,910千円

○概要 新型コロナウイルス感染症の影響により低迷した地域経済を活性化させるため、商工会の実施するプレミアム付き商品券発行事業を引き続き支援します。令和4年度においても、昨年度に引き続き、**プレミアム率を20%**とし、**発行冊数は4,000冊**とします。



発行総額 : 2,400万円
プレミアム率 : 20% (発行総額のうち400万円分)
発行冊数 : 4,000冊
販売価格 : 1冊5,000円 (500円×12枚セット 6,000円分)

(令和3年度商品券)

～新型コロナウイルス感染症対応事業②～

《新規》大学新1年生等にパソコン・周辺機器等の購入費用の一部を支給します【教育課】

○事業名・予算 教育支援事業 大学新1年生等リモート通信授業支援給付金 2,000千円

○概要 新型コロナウイルス感染症の影響により大学等でリモート通信授業を余儀なくされているなか、新たに修学を希望する方に対して学びの機会を確保するため、リモート通信授業に対応可能なパソコンや周辺機器等の購入費用の一部を支給します。

○支給対象者 令和4年度に大学・短期大学・専修学校（専門課程）へ新たに修学する方。
※令和4年1月1日時点で、本村の住民基本台帳に登録されていることが条件となります。

○給付金の額 支給対象者 **1人につき5万円**とし、1回限りとします。



4 一般会計の財政数値の推移

(単位：千円、%)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
当初予算額	5,009,000	5,540,000	6,200,000	4,340,000	6,480,000	5,250,000	5,970,000	4,630,000	6,340,000	6,390,000
歳入決算額	5,176,953	5,976,670	6,408,562	9,811,771	6,846,768	6,231,292	6,312,612	7,073,091	—	—
うち地方税	3,733,039	4,017,105	4,022,541	3,938,510	3,888,995	4,017,729	4,117,327	4,131,363	—	—
歳出決算額	4,747,162	5,651,991	5,857,083	9,198,022	6,341,154	5,661,629	5,345,978	6,569,682	—	—

年度末基金残高	9,014,498	9,204,934	8,859,288	8,938,318	8,168,792	7,717,808	7,261,722	7,886,842	7,506,082	—
財政調整基金	4,044,944	4,475,280	4,489,719	879,649	877,842	900,000	900,000	900,000	900,000	—
減債基金	27,746	27,836	27,926	28,019	28,113	28,182	28,257	28,329	28,386	—
特定目的基金	4,941,808	4,701,818	4,341,643	8,030,650	7,262,837	6,789,626	6,333,465	6,958,513	6,577,696	—

(見込)

地方債残高	260,623	136,736	77,000	61,478	172,930	161,425	149,607	137,469	117,648	110,296
-------	---------	---------	--------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

(見込)

(見込)

経常収支比率	68.4	65.7	64.9	68.3	68.8	68.2	69.9	67.6	—	—
--------	------	------	------	------	------	------	------	------	---	---

実質公債費比率	1.7	1.4	0.8	0.0	△ 0.9	△ 1.3	△ 1.3	△ 1.2	—	—
---------	-----	-----	-----	-----	-------	-------	-------	-------	---	---

基準財政需要額	1,596,822	1,548,192	1,599,203	1,575,350	1,553,806	1,544,876	1,542,656	1,621,430	1,821,080	—
基準財政収入額	3,302,061	3,229,409	3,377,428	3,379,115	3,421,033	3,390,881	3,463,445	3,531,581	3,402,132	—
財政力指数	2.081	2.065	2.089	2.114	2.153	2.181	2.214	2.206	2.098	—
標準財政規模	4,296,095	4,188,680	4,396,466	4,398,215	4,470,963	4,401,645	4,499,589	4,601,872	4,433,179	—

※平成28年度及び令和2年度は、骨格予算編成である。

※実質公債費比率及び財政力指数は、3か年平均である。

5 用語説明

○経常収支比率

地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費等のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補てん債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合。

この指標は、経常的経費に経常一般財源収入がどの程度充当されているかを見るものであり、比率が高いほど財政構造の硬直化が進んでいることを表す。

○実質公債費比率

地方公共団体の一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の財政規模を基本とした額に対する比率。借入金（地方債）の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示す指標ともいえる。

○基準財政需要額

普通交付税の算定基礎となるもので、各地方公共団体が、合理的かつ妥当な水準における行政を行い、又は施設を維持するための財政需要を算定するものであり、各行政項目ごとに、次の算式により算出される。

$$\begin{array}{l} \text{単位費用} \\ \text{(測定単位 1 当たり費用)} \end{array} \times \begin{array}{l} \text{測定単位} \\ \text{(人口・面積等)} \end{array} \times \begin{array}{l} \text{補正係数} \\ \text{(寒冷地補正等)} \end{array}$$

○基準財政収入額

普通交付税の算定に用いるもので、各地方公共団体の財政力を合理的に測定するために、標準的な状態において徴収が見込まれる税収入を一定の方法によって算定するものであり、次の算式により算出される。

$$\text{標準的な地方税収入} \times 75/100 + \text{地方譲与税等}$$

○財政力指数

地方公共団体の財政力を示す数値で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た過去3年間の平均値。財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえる。1.00を超える自治体は、普通交付税不交付団体となる。

○標準財政規模

地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう經常的一般財源の規模を示すもので、標準税収入額等に普通交付税と臨時財政対策債発行可能額を加算した額。標準税収入額等は、次の算式により算出される。

$$\begin{aligned} & (\text{基準財政収入額} - \text{地方譲与税} - \text{交通安全対策特別交付金}) \times 100/75 \\ & + \text{地方譲与税} + \text{交通安全対策特別交付金} \end{aligned}$$



活気・魅力・人づくりの村

とびしま



飛島村キャラクター
「とびしマン」

作成：飛島村総務部総務課

〒490-1436

愛知県海部郡飛島村竹之郷三丁目1番地

TEL 0567-97-3461 (直通)

Eメール：tb-soumu@vill.tobishima.lg.jp

ホームページ：http://www.vill.tobishima.aichi.jp/